

プランタン銀座のエコ活動について

(株)プランタン銀座取締役
永峰 好美

Something unique!

PRINTEMPS GINZA

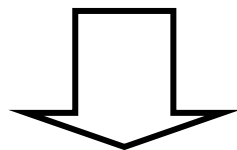
プランタン銀座の環境問題への 取り組みについて

若い女性(25歳～35歳)をターゲットとし、ファッションをメインにしている当社として
お客様とともにどのように環境問題に取り組むべきか

地球環境保全・温暖化防止への
取り組み

×

若い女性にファッションを提案する
デパート



“オシャレを楽しみながら気軽にエコ”

をテーマに、小さなことから始められるエコ活動を提案・実践していく

事例 < ウォームビズ 2005秋 >

小池環境大臣による
フェアの視察

顧客のOLに向け、ウォームビズアイテムを
提案する「快適オフィススタイル」フェアを実施



オシャレの大敵「着膨れ」に見せないコンパクトな重ね着ができるカーディガン

機能性だけでなくファッション性も高くなっているババシャツや毛糸のパンツ

流行のスパッツやストールをウォームビズアイテムとして提案



20代の売場担当者がプランタン流ウォームビズスタイルで小池大臣に説明することで、「オシャレを楽しみながら環境に配慮」というメッセージをリアリティを持って伝えることができた。



事例 <ふろしき> 2006年5～6月

地球環境に関する勉強会 社員によるふろしき出勤デー お客様へ向けた「ふろしきフェア」と段階を踏んだ活動を実施。メディアにも取り上げられたことで「ふろしき」自体が新たなトレンドとなり、若いお客様がふろしきを購入していった。



【4月】

環境省の担当者を講師に招き、温暖化に対する勉強会および、ふろしきについてのレクチャーを受ける。

約40名が参加



【5月】

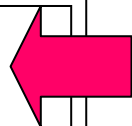
「ふろしき」を実際に社員が使うことで「使いやすい」や「普段のバッグとしても使えるオシャレなアイテム」であることを実証し、フェアの意義を高めることに成功。



【6月】

6月5日(日本百貨店協会が定めた「スマートラッピング」の日)から2週間『ハッピーふろしきスタイリングフェア』を実施。

2週間で約800枚販売



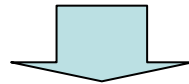
出勤デーの記事がでることで、その後のフェアに注目が集まり、後追い取材が入る。

お客様からの問い合わせも増える。

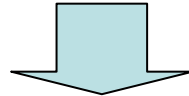
< 事例 マイバッグ > 2006年11月発売

【コンセプト】

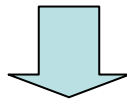
- ・ 地球環境保全・温暖化対策として、2007年4月に施行される「改正容器包装リサイクル法」を踏まえ、容器包装削減に向けた取り組みとして、プランタン銀座のロゴを使用したオリジナルマイバッグを作りたい
- ・ OLが通勤バッグと一緒に持っても違和感のないオシャレで機能的なバッグを作りたい
- ・ 買いやすい価格、且つ「マイバッグを購入する」という行為そのものがエコに役立つような仕掛けにしたい



2006年11月～ オリジナルマイバッグ630円、
ブランドコラボマイバッグ1260円の2種類を制作、販売開始



2007年1月 都内スーパーがレジ袋を有料化 スーパー、百貨店の取り組みとして
オリジナルマイバッグが注目される



マイバッグが増えるにつれ、機能性だけでなくファッション性の高いものが求められ始めるようになり、プランタン銀座のマイバッグに問い合わせや注文が増える。

2007年6月末までに 累計 約6000枚 を販売

オリジナルマイバッグ 630円(税込)



ロゴ部分のカラーと同じリボンで持ち手部分をパイピングし、袋口部分をリボンで結べるようにした。

ベースに深いブラウンを採用し、落ち着いた雰囲気仕上げた。

レジ袋型 縦35cm(持ち手含めると57cm)横30cm、マチ約15cm

全4色 : 茶×ピンク、茶×白、茶×黒、茶×グリーン(新色)

売上金額の一部を「独立行政法人 地球環境保全機構 地球環境基金」へ寄付
マイバッグを購入すると自動的にエコ活動を支援することが可能

ブランドコラボマイバッグ 全14種類1,260円(税込)



・出店している17のブランド(当時)と共同制作し、14種類を作成

・ブランドの買い物袋(紙袋)を2次利用している人が多いことから、ブランドロゴを前面に配した、買い物袋風のつくりにした

「おしゃれやファッションを楽しみながら、自然と環境に良いことができる」という ファッション×エコの好事例に

< 事例 チョコッとecoキャンペーン > 2007年2月

【キャンペーン主旨】

- 容器包装削減PRのためバレンタインの時期を使い、環境省とともに、キャンペーンを実施
- 「本命用」にはきちんと包まれたチョコを選んでも、「義理用チョコ」「自分用チョコ」の購入にはなるべく簡易包装を選んでもらう < マイバッグを持参してもらう > ことを推奨する。



【包装形態をお客様が選べる商品を販売】

バレンタイン時期は既に包装がされているものが多い。自分用チョコの場合、華美な包装は無駄になる。



左 簡易包装
右 バレンタイン包装

【マイバッグ利用の促進】

バレンタイン売り場の各所に「マイバッグご利用の際はお申し付けください」と書かれたPOPを配置

大量購入などの際は、

「お買い物袋をおまとめしましょうか」「マイバッグのご利用はございますか」といったお声掛けを積極的に行う。

< 事例 eco STYLE月間 2007.6/5 ~ 6/29 >

【ecoSTYLE宣言】

職場や通勤中にできる、地球環境に役立つ身近な9つの行動を設定。社員は、その中から一つ自分が取り組む行動を「宣言」して、1ヶ月間重点的に取り組む。
名札の下に宣言内容を記したプレートを掲げることで、行動へのモチベーションアップとともに、お客様やお取引先へ「環境問題に取り組む企業姿勢」を伝えることが可能

社員の取り組み

お客様に向けたエコ提案

【ecoSTYLEフェア】

ファッション雑貨売り場および、インテリア雑貨売り場で

「無駄を減らす」「自然に還す」といった環境に配慮したアイテムをセレクトし、販売する。

例) オーガニックコットンでできた靴下
エコバッグ 風呂敷 河川を汚さない
洗剤 マイボトル など約20種類

“環境に良いことは身近なことから始められる”
というメッセージの発信ができた



2UP3DOWNは階段を使用

使用しない場所の電気は必ず消灯します



ごみの分別を徹底します

